会報

社会参加で生きがいづくり

さいたまシルバー

「プラザノース」

目　次

- 新年のご挨拶……2～3
- 事業実績……4～5
- 各種講習・研修会……6～7
- 就業会員の声……8～9
- 発注者の声……9～10
- 地域班活動・親睦互助会……11～13
- 区民まつり・ボランティア活動……14～15
- 指定管理業務のご紹介・編集後記……16

第29号

2016.1.1

迎春

公益社団法人　さいたま市シルバー人材センター

〒330－0801　埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Tel:048－669－0303　　Fax:048－669－0305

ホームページ:http://www.sjc.ne.jp/saitama-sc/

新年のご挨拶

公益社団法人　さいたま市シルバー人材センター
理事長　佐伯鋼兵

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様ならびに、ご支援・ご協力を賜っております関係者の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

旧年中は、当センターの様々な事業に対しまして暖かいご支援やご協力を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

さて我が国では、少子高齢化が急速に進展し、労働力人口の大幅な減少が見込まれております。また、20年後には人口の3分の1が65歳以上となる時代を迎えると推測されています。そのような中、高齢者が生涯現役で社会参加することが強く求められており、高齢者の多様な社会参加の受け皿として、シルバー人材センターの果たす役割はますます高まってくると考えております。これからも、魅力あるセンターを目指して、会員の増強や就業機会の開拓に取り組んでまいりますので、会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様もご承知のように、昨年3月には北陸新幹線が金沢まで開通いたしました。また、11月にはさいたま国際マラソンが開催され、２０１７年4月には世界盆栽大会も本市で開催されることが決定しております。これらの明るい話題を契機として、経済が活性化することにより、シルバー事業の拡大にも結び付くものと期待しているところです。

また、国の補助事業として平成27年度から「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」が開始されました。これは、シルバー人材センターが高齢者に、サービス業等の人手不足分野や、介護、育児等の現役世代を支える分野で、派遣により就業する機会を提供する事業です。平成28年度にはこの事業の対象業務も拡大されるとのことですので、当センターにおいても、従来の請負事業のみならず、派遣事業をこれまで以上積極的に推進し、一人でも多くの会員の就業機会の確保につなげてまいりたいと考えています。

今後、センターを取り巻く環境はますます変化し、時代に対応した取り組みが求められる中、社会環境の変化に即した事業展開を進め、より一層市民の皆様から愛され、信頼を頂けるシルバー人材センターであるよう努めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、ご支援、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって明るく、活力と希望に満ちた幸多い年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

さいたま市長　清水勇人

新年、明けましておめでとうございます。

シルバー人材センターの会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。日頃から市政各般にわたり格別の御支援、御協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

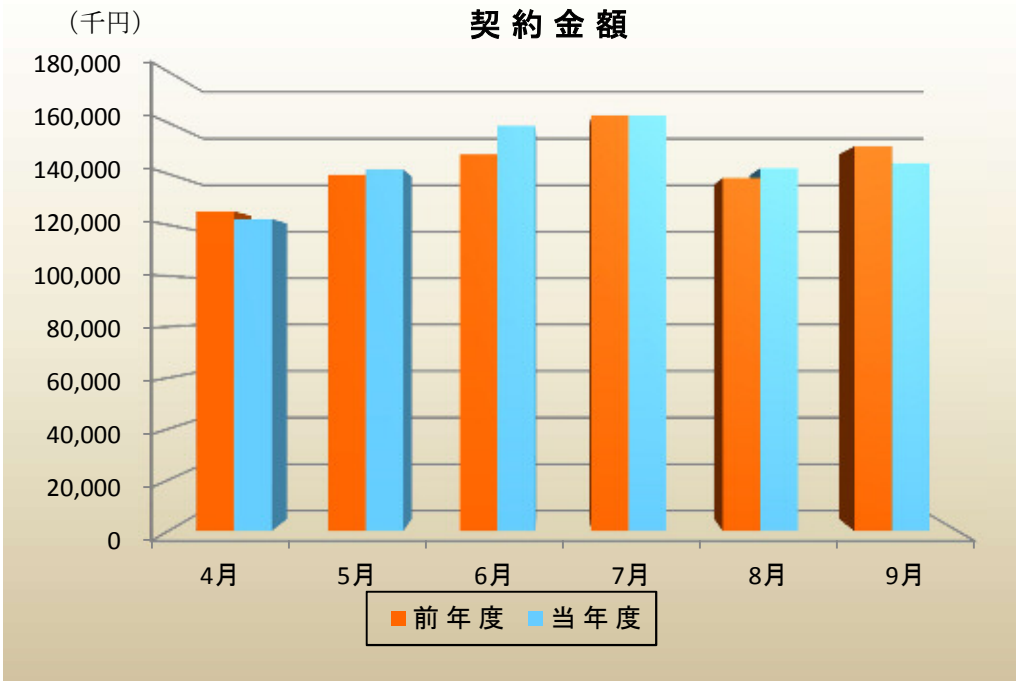
さて、本市では、来たるべき人口減少と超高齢社会の到来に備えるため、「さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。その中の基本的な方向性として、市民一人ひとりが元気に活躍する「スマートウエルネスさいたま」や、自然と共生しながら都市の機能を向上するための、上質なくらしを実現できる都市づくり、みんなで安全を支える「安心減災都市」づくりに取り組むこととしています。中でも、市民の皆様が健康で生きがいを感じ心豊かな生活を送ることができるよう、「市民一人ひとりの健幸づくり」、「高齢者が活躍するまちづくり」は、非常に重要なテーマであり、健康寿命の延伸、高齢者の社会参画の増加に向けて、着実に事業を進めていきたいと考えております。

具体的には、がん検診や特定健康診査の受診率の向上や、市民の皆様へのスポーツ・運動の普及を進めるとともに、高齢の方々の活躍に向けた様々な活動の機会の増加を目指した各種の取組、医療・介護の充実に取り組んでまいります。特に、少子・高齢化が急速に進む今日において、地域社会の活力の維持、向上のためには、高齢の方々が年齢に関わりなく、地域社会で活躍できる環境づくりが重要と考えています。このために、シルバー人材センターへの支援の強化をはじめ、シルバーポイント事業やアクティブチケット事業の拡充等、様々な取組を進めてまいります。

さいたま市シルバー人材センターにおかれては、今日まで、市民の皆様から親しまれつつ発展を続けてきたところであり、会員の皆様をはじめ、役員、関係者の皆様の熱意と御尽力の賜物であると、深く敬意を表するところであります。今後も、皆様が長年培ってこられた技術や経験を生かし、地域社会の担い手としての御活躍をいただけるよう、シルバー人材センターを支援してまいりたいと考えております。

最後に、新しい年が会員の皆様方にとり幸多き素晴らしい1年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、シルバー人材センターのますますの発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

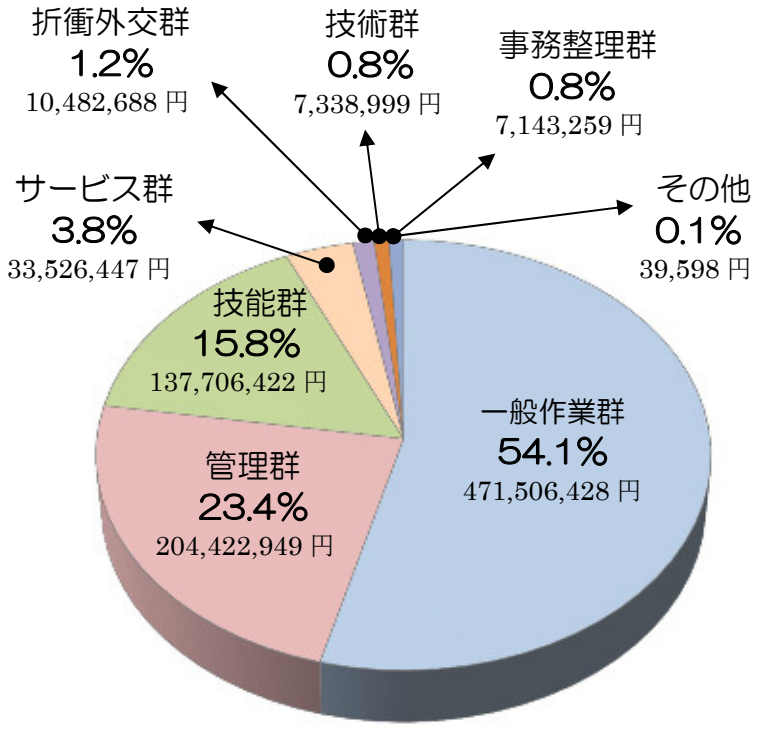
平成２７年度上半期実績



昨年度と比べ、上半期契約金額は合計でプラスとなっています。

これは平成27年度より配分金に消費税上昇分を転嫁したことによるところが大きくなっています。

職群別契約金額実績



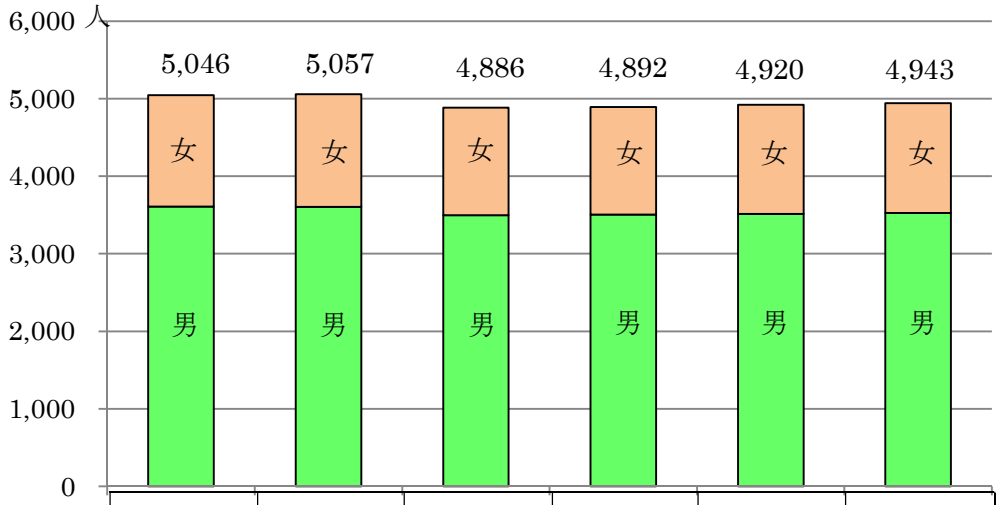
センターで最も実績の多い職群は、屋内外清掃や除草・草刈りなどの一般作業群で全体の約半分を占めています。

次いで駐輪場・駐車場管理などの管理群が約23％となっています。

植木剪定や襖張りなどの技能群は３番目に多い職群となっています。

4月～9月までの会員数と構成比

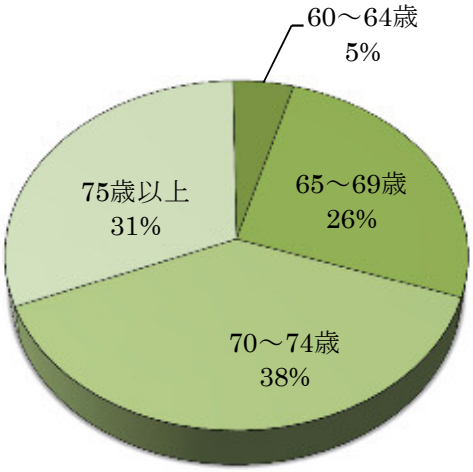
男 女 別 月 別 会 員 数



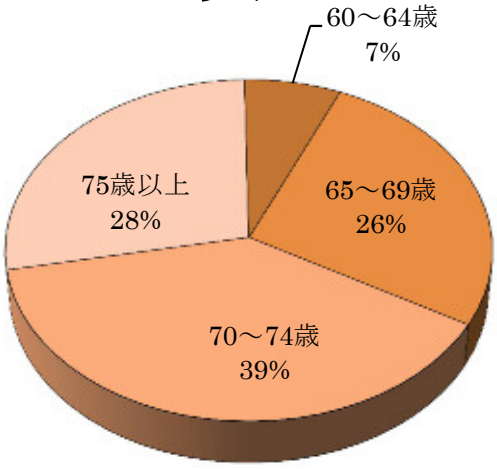
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
女	1,437	1,451	1,389	1,385	1,406	1,417
男	3,609	3,606	3,497	3,507	3,514	3,526

男女別年齢別構成比（平成 27 年 9 月末現在）

男性



女性



男女とも最も多い年齢層は 70～74 歳で、全体の約 40%となっています。
全体の平均年齢は 72.1 歳です。

各種講習・研修会

次のような研修や講習が、本年度上半期に実施されました。

会員研修・講習

シルバー人材センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る研修並びに講習です。

① パソコン研修

第1回　初めてのパソコン
5月27日～29日　20人参加
会場・与野事務所

第2回　ワード入門
6月24日～26日　20人参加
会場・与野事務所

第3回　初めてのパソコン
9月28日～30日　13人参加
会場・大宮事務所

② 植木剪定講習（初心者向け）

6月12日～16日　46人参加
会場・浦和事務所
障害者交流センター

③ 刈払機取扱講習

7月7日　36人参加
会場・七里総合公園

④ 救命講習

9月8日　21人参加
9月16日　13人参加
会場・ふれあい福祉センター

⑤ 接遇能力向上研修

9月14日　33人参加

会場・ふれあい福祉センター

高齢者生きがい活動センターの講習

高齢者生きがい活動センターでは、さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより就労を支援しています。

高齢者の豊かな経験、知識及び技能を活用した地域活動を支援し、生きがい活動の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを促進しています。

① パソコン講習

第1回　初めてのパソコン

7月28日～31日　19人参加

第2回　ワード入門

8月4日～7日　19人参加

第3回　エクセル入門

8月24日～27日　20人参加

② 傾聴ボランティア養成講座

6月8日～7月7日

講習会・研修会のお申込みについて

各種講習会、研修会についてのご案内は、毎月発行している「会員ニュース」や「市報さいたま」に掲載されます。

お申込みについては、講習会や研修会ごとに内容や会場が異なりますので、それぞれご確認のうえ、掲載された申込み先までお願いいたします。

受講希望者が定員を超えた場合は抽選となりますが、就業に必要な技能と知識を身につけられますので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

就業会員の声

大宮会員の 花田 兀良（たかよし）さん

花田兀良さん（75歳）は鉄道会社の勤務などを経て定年を迎えたあと、シルバーの会員になりました。大宮のふれあい福祉センターでの5年の就業の経験を活かして、現在の浦和ふれあい館に平成27年4月から就業を始めました。

センターが指定管理者として昨年4月から館の管理運営を委託され、男性会員8名、女性会員3名が就業しています。曜日によりますが、朝は8時から夜22時まで、受付、部屋の貸し出し、建物の点検・管理業務をローテーションでこなします。

就業ローテーションを組むのもリーダーの花田さんの役割です。シルバー世代になると、日程が計画通りに行かないことが間々ありますが、その調整を図り、年間の就業時間が均一になるようにするのもリーダーの役目です。

「同僚は互いに理解し合い、協力的です。仕事の上でも苦労はありません」とさばさばした表情で花田さんは話してくれます。

花田さんが趣味で参加している男性の料理教室「くいしんぼうの会」は20人ほどの男性が集まって、先生から教えを受けます。その20年記念誌を趣味のパソコンで作り上げたのが花田さんの最近の出来事です。「家内に料理を作ってと言われれば作りますよ」とまんざらでもない様子。

「人間は絶えず勉強し、前向きに働くことが大事です。目標があれば生きがいも生まれます」

言葉の端々にしっかりと前を向いた姿勢がうかがわれました。これからも健康でご活躍ください。

（取材・鈴木編集委員）

岩槻会員の 落合 詔夫（つぐお）さん

ズバリ、年齢を伺いました。昭和17年生の73歳。青いストライプ柄のシャツに小さい水玉の紺のスカーフ。穏やかで言葉も丁寧、洒落ていて素敵な方です。仕事は襖・障子・網戸などの張替・修繕で、年間を通して仕事があり、10月から年末は特に忙しいそうです。

飲料会社に勤務し、退職後、先輩の勧めで高等技術専門校に半年通学。会社時代とは違う技術を身につけたそうです。もともと大工仕事なども好きだったので、掛け軸、屏風、額、クロスなどの実践的な勉強は、自分に合っていたとのこと。卒業後、60歳になるのを待ってシルバー会員になり、現在に至るまで12年間、今の仕事を続けているとのことでした。

仕事では、作業の難しさに加えて、お客さんへの対応に注意しているとのことです。「張替して、納品して請求書を渡して終わりではなく、次の仕事につなげていくよう言葉遣い、態度、接し方にも気を配っている」「お年寄りだけの世帯も多く、仕事以外の様々な話をしてくれることも多い。時間のあるときは話を聞く（傾聴）ようにしている。聞いているうちに表情が明るくなり、心から感謝されることがある。自分も満足感を感じ、仕事をやってよかったと思う」「人の役に立つとはこういうことなのか思うことが、この歳になって多くなった。充実感、達成感を感じる」

仕事に対しても「お客さんに喜んでもらえる、納得してもらえることが大切。お金をもらっているというプロ意識を持つことが大切」という厳しさも持っていらっしゃいます。

食事や運動など健康にも注意されているとのこと。容姿や振る舞いだけでなく、気持ちや私生活も素敵な方でした。

（取材・島村編集委員）

与野会員の 荒木 満（みつる）さん

与野事務所植木班のグループ長をしている荒木さんに、ひと仕事終えて戻った与野事務所でお話を伺いました。

荒木さんは、長年履物店を経営してきたが、経済状況の変化により店を閉め、一時サラリーマンを経験して平成11年に入会、以来植木剪定作業一筋に活躍されている会員さんです。

今年満81歳とは思えない色艶の良い健康的な顔からは、今の仕事にとても充実感を持って日々を送られている様子がよく分ります。

元々植木とは全く縁がなく、枝一本切ったこともない荒木さん、入会した時植木剪定作業は人手不足と聞き、それではとこの仕事に就いたのですが、その頃は必要な講習など無かったので、全て自らの創意と工夫で、お客様の要望を満たすように努めて来ました。

今まで一番大切にしてきたことは何ですか、と尋ねますと「お客さんとのコミュニケーションで、仕事の最後には必ず出来栄えを見てもらい『よく出来てとても良い気持ち、また来年もよろしくお願いします』の言葉をいただいた時がこの上なく嬉しく、このように真面目に取組む姿勢に、今では全てリピーターのお客様の仕事で一杯となり、まさに16年間の勲章と思っています」と誇らしく話してくれました。

今後は、新人教育に精を出し、一人前に育ったら引退しようと考えていると言っていましたが、傘寿を過ぎてもまだまだ若々しい姿からは、引退の文字はまったく見られませんでした。

（取材・津島編集委員）

発注者の声

ＡＬＳＯＫ双栄株式会社 様

北区日進町にある綜合警備保障株式会社（ＡＬＳＯＫ）グループの一員であります ＡＬＳＯＫ双栄株式会社埼京支店さいたま営業所を訪ね、所長の鈴木英明さんにお話を伺いました。

訪問したところは、世界の総合自動車部品メーカー カルソニックカンセイ（株）本社内です。

広々とした正門で警備するＡＬＳＯＫ双栄の親切丁寧な警備員に案内されて入門。直ちに面談の約束をした鈴木所長の出迎えを受け、カルソニックカンセイ本社内に導かれ入館すると、このメーカーが作る自動車部品の展示を兼ねた正面入口ではその素晴らしさに見入り、更に同じＡＬＳＯＫ双栄社員の受付嬢との心地良い挨拶を交わした後、ここで働くシルバー会員の話を伺いました。

現在３名の会員が交替で、平日２シフトで就業しています。その仕事は、多くの社員が日々使用する社有車である電気自動車（ＥＶ）の充電作業とその他の社用車を含めた日常的な手入れがメインの仕事です。その為、この仕事をするには車の安全な取扱いが重要となるので、従事者の運転技量を見極めた上でお願いしています。

また、メインの仕事の合間には、構内の目立った雑草の除草等、良好な環境を維持する仕事もしています。

その仕事ぶりに「メインの仕事を含め大変良くやっていただき、とても満足しています。また気付いたことを、積極的に発言してくれるのもうれしいです」と感謝の言葉を述べられていました。

（取材・津島編集委員）

第一機材株式会社
岩槻事業所 様

岩槻区大字表慈恩寺にある「第一機材株式会社岩槻事業所」で購買部マネージャーの佐々木さんにお話を伺いました。第一機材株式会社は、設立60年の歴史ある会社です。マンホール、グレーチング（格子状の下水の蓋）、ルーフドレイン（ベランダ排水口の網状の蓋）などの建築・設備資材の設計・製作・販売を行っています。製品は４０００種類近くもあるそうです。工場は、新潟県と埼玉県鷲宮にあり、岩槻事業所は、それら製品を一時的に保管し、関東近辺へ配送するセンターも兼ねているとのことです。取材に伺った日も、トラックやフォークリフトが忙しく働いていました。敷地面積は１００００坪以上。大きな倉庫の他に事務所の建物、設計部門の建物がありました。事業所が岩槻に開設されて30年、従業員は現在60人近くいらっしゃるそうです。

こちらでのシルバー会員の仕事は、事務室、設計室、会議室、トイレなどの清掃です。会員1名が、一日おき、午前中に就業しています。現在就業している会員は、８年ほど続けているそうで、会社の皆さんから従業員のように親しくしていただいているそうです。会員さんも時間のあるときは花を植えたり、持ってきた花を飾ったりすることもあるとのことで、お話を伺っていて、皆さんと仲が良く、家庭的な温かさを感じました。

また、それとは別に毎年、会員４、５名で樹木の伐採や除草作業もさせていただいているとのことです。「責任を持ってやってもらっている。よくやってもらっているので、助かっている」とのお言葉に、こちらもありがたくお聞きしました。

（取材・島村編集委員）

埼玉機器株式会社 様

現在のさいたま市中央区には、かつて「自動車の町与野」という看板が道路端に立てられていて、自動車部品の工場や組み立て工場が集まっていました。

その地にある埼玉機器株式会社は昭和31年に三輪精機（株）からオイルブレーキ部門を独立させて、専門メーカーとして設立されました。現在はトラック・バス、産業機械、鉄道など輸送機械の、走る・止まる・曲がるための部品を手広く製造しています。本社・与野工場にニシウミ技術研究所を持つほか、秩父、児玉に工場や実験場を持ち、タイにも工場を設立しました。

平成19年から工場内外の清掃、美化活動の手助けとして女性会員２名の就業が始まりました。

「トイレなどはその清潔さでお客様から会社が評価される場所です。きれいにしてもらっていますよ」と総務部長の塚田友之さんが満足そうに話してくれます。

平成22年からは男性会員２名が交代で工場内の軽作業に就業しています。安全靴など防護具を着用し、手押しの台車で部品の移動作業に就きます。

工場入り口の「安全の門」の前で塚田部長は話します。「会員の方は良く働いてくれます。安全には絶対の注意を払ってもらっています。作業上の安全と高品質の維持はわが社の最大の目標ですから」

「人間尊重」を経営基盤とする会社の方々が就業会員を優しく見守って下さっている様子がうかがわれました。

（取材・鈴木編集委員）

地域班活動

中央区第一地域

地域長　山内　忠義

第一地域は、旧与野市東部を受持ち、7班で会員は２００人です。

昨年3月の班長会議で、地域長に推されましたので、当時の井上所長や班長さんに「御支援と御協力」をお願いし地域長を受けました。その場で、第1回の班長会議を4月23日に開催することとし、班長さんに地域会議や奉仕活動をどのようにやるべきか、お考えいただいて出席されるようにお願いしました。

第1回の班長会議で、班長会議を年4回、地域会議、研修会、奉仕活動をそれぞれ年2回開催と決定しました。

研修会のテーマは、6月は「認知症とサポーターの役割」10月は「御存知ですか？　ジェネリック医薬品」と決め、講師の手配をしました。

また、当日の班長会議で、これまで低調だった第一地域の活動を盛り上げるために、第一地域のモットーを左記のように定め、地域会議等を会員にお知らせする文章に掲載し、会員の皆さんの啓蒙を図るようにしています。

11月現在、班長並びに会員の皆さんの御協力により、スケジュールどおりに、全ての施策が実施されており、来年度は更に充実させたいと考えております。

明るく　元気で
活動的な　第一地域

中央区の花「バラ」

岩槻区第三地域

地域長　利根川　登

岩槻区第三地域は、岩槻区の北部に位置し旧慈恩寺地区を中心に現在会員数は、6班、１２０名前後で活動をしています。

第三地域では、地域班会議研修会を年2回、地域奉仕活動を1回行っています。

今年度は、1回目の地域会議と研修会を、7月23日北部公民館にて行いました。

さいたま市シルバーの現況や安全就業等について研修し、会議終了後「体力を生かして寝たきりゼロ」のテーマで、さいたま市うんどう遊園地域指導員の指導をいただき健康教室を行い、ストレッチ、筋トレ、脳トレの運動を行い日頃の運動不足を解消し心持ち良い汗を流しました。

また、10月24日地域奉仕活動として、地域内にある「児童養護施設いわつき」園内の除草作業を、入所している児童、生徒と一緒に楽しい交流をしながら、会員30名の参加で行いました。

地域班活動は就業中の会員もあり、全員の参加はむずかしい点もありますが、無理することなく多くの会員が仕事だけではなく地域活動・親睦会に参加し、信頼交流が図れるよう会員皆様とがんばって行きます。

親睦互助会

与野七福神

与野支部　小島　一夫

正月には初詣として、各神社・仏閣へ一年の祈願に出掛けます。それに合わせるように、七福神巡りを行う人が、ここ数年増加してます。ご案内の与野七福神は前回の与野公園の続きとして書いております。

七福神信仰は遠く室町時代末期から行われ「七難即滅」「七福即生」の説に基づくものと言われております。七福とは清廉－恵比寿天、有福－大黒天、威光－毘沙門天、愛敬－弁財天、人望－福禄寿神、寿命－寿老神、大量－布袋尊と言われ、江戸時代には「無病息災」「家内安全」を願う人々が寺社に参詣祈願していたように、与野七福神も同様に昔から栄えていたと思われます。

毎年1月3日七福神仮装パレードが行われて、今年は31回目になります。与野事務所では道案内に当る「のぼり旗」の設置を引受け、12月になりますと沿道に取り付けております。

与野七福神は細長い中央区を南北にほぼ一直線にまとまっています。歩行距離は約6㎞程で2時間もあれば一巡り出来ます。手ごろなコースです。観光とは言えませんが健康増進に足を運んではいかがでしょうか。

全会員皆様の健康・活躍を祈念申し上げます。

一泊親睦旅行

浦和支部　倉内　壯吾

10月20日～21日に、「茨城県五浦温泉・袋田の滝方面を巡る旅」を実施しました。参加者は52名で、秋日和のなか、楽しんできました。

初日、集合時間の10分前に全員集合。定刻前の出発で、スムーズに市内を抜け出すことができました。最初に訪れた、アサヒビール茨城工場では、製造工程の説明を聞きました。待ちに待ったビールの試飲は格別で、芳醇な味に舌鼓を打ちました。

吉田正音楽記念館は吉田メロディが流れ、思わず口ずさむような雰囲気を味わいました。天心記念五浦美術館を見学し、五浦温泉に到着。アンコウの吊るし切りの実演を見学し、宴会場へ。

宴会は支部長の挨拶、幹事の乾杯で開会。余興では、フラダンスに喝采、プロ顔負けのカラオケに時間を忘れました。よい気分で、眠りに就きました。

翌日は、いわき市観光物産センターに行きました。復興を成し遂げたテナントで、新鮮な魚介類を買いました。復興助成制度を利用して、干物セットをお土産に頂きました。袋田の滝は、秋色が迫る頃、3段の位置からの眺望を楽しみました。

帰路は、ビンゴゲーム、きみまろＶＴＲなどで、退屈しませんでした。

6時ごろ、到着。それぞれ、沢山のお土産を抱えて、帰路に就きました。

秋の日帰りバス旅行

大宮支部　佐藤　英明

大宮支部ふれあい会は、11月11日、会員53名が参加し、バス2台で茨城方面へ出かけました。

前日の雨とはうって変わり絶好の旅行日和となり、大宮西口シーノ前を7時30分定刻に出発。高速を順調に走り最初の目的地アサヒビール茨城工場へは、予定より早く到着。

ロビーで朝ドラの「マッサン」のモデル、日本のウイスキーの父竹鶴政孝・リタご夫妻の写真展を見て待ちました。

見学は、大型スクリーンでの会社の取組みの映像紹介。スタッフの案内で、ビールができるまでの各工程の説明を聞き、工場内を一周。紅葉の木々に囲まれた美しい庭園の中、地上60ｍの試飲会場で、筑波山を眺めながらできたての生ビールは、格別でした。

昼食は、水戸ドライブインの「ひたちの里」にて萩ご膳、ご当地の季節感あるお弁当。お店でおみやげの爆買？　次は、丸真食品バイパス店に立寄り、舟形の舟納豆で伝統の味を賞味しました。

メインは日本三名瀑の一つ袋田の滝。幸運にももみじが見頃で、美しい紅葉に映える絶景と迫力、四度の滝秋バージョンに大満足しました。

帰路は、恒例のビンゴやカラオケで盛り上り。日頃お会いできない皆さまと、秋の楽しい一日を過し、大宮19時50分無事到着しました。

親睦みどり会　日帰り旅行

岩槻支部　片桐　健司

岩槻支部は11月18日、岩槻駅近くの銀行前を7時30分に出発、65名の参加でバス2台に乗り楽しみにしていた旅をスタートしました。

今回の近場の旅第2弾は千葉県成田方面で、アサヒビール茨城工場見学と出来たてのおいしい生のビールをしっかりいただき、クリスマス・お正月に向けてのコマーシャルに送られて、次の目的地、成田山新勝寺に一年の御礼詣りと新年の無事をお願いしてまいりました。家内安全、商売繁昌、交通安全、厄難消除など不動明王様に祈願することのなんと多いこと。

年のはじめと違い境内も広々、急な石段を踏みしめながらゆっくりとゆったりとお不動様に煩悩を焼いて頂き、清浄な心で次の成田空港に隣接する航空科学博物館に行きました。

到着してすぐに轟音とともに大きな機体が頭上を通過する姿にただ驚き、間近に見るとはこういうことだとあらためて実感しました。

博物館内はジャンボ機ボーイング747機の迫力ある機体、操縦席、座席など沢山の見学するところがあり知らないことが発見できました。

3ヶ所を訪ねて共通したのは、人生での豊かさを願う思いは常に「安心と安全」があってこそ幸せを感ずるのだと再認識した旅行でありました。

区民まつりの参加活動

10 月 17 日 桜区区民ふれあいまつり
パネル展示やリーフレットの配布をしました

10 月 17 日 緑区区民まつり
パネル展示やリーフレットの配布をしました

10 月 18 日 岩槻区民やまぶきまつり
パネル展示、手芸品の販売等をしました

10 月 31 日 大宮区民ふれあいフェア
パネル展示、手芸品の販売等をしました

11 月 1 日 北区民まつり
リーフレットやティッシュの配布をしました

11 月 1 日 浦和区民まつり
パネル展示やリーフレットの配布をしました

11 月 7 日　見沼区民ふれあいフェア
パネル展示やリーフレットの配布をしました

11 月 7 日･8 日　中央区区民まつり
パネル展示や手芸品の販売をしました

11 月 7 日　南区ふるさとふれあいフェア
リーフレットやティッシュの配布をしました

11 月 14 日　西区ふれあいまつり
パネル展示、リサイクル自転車販売等をしました

会員ボランティア参加活動

ふれあい教室　猿花デイキャンプ
青少年との交流事業として
カレーライスなどを作りました

シルバーライフサポート活動
独居などで移動困難な世帯に対し
通院や買い物のサポートをしています

指定管理業務のご紹介
～浦和ふれあい館～

さいたま市シルバー人材センターはさいたま市より指定を受け、平成27年4月1日から指定管理者として、浦和ふれあい館の管理を行うこととなりました。

市への報告、予算の執行・管理、業者との取引といった業務は館長を中心とした職員が行っていますが、会館受付、清掃といった業務は会員の皆様にご協力いただいて現在、受付では11人、清掃では5人の会員がローテーションで就業しています。

浦和ふれあい館は地上4階、地下1階で1階には社会福祉協議会が入居し、第1会議室、第2会議室、和室、シルバーキッチンなどの貸し出しをしています。

昨年11月からは2階にふれあい喫茶ルーム「あかしあの森」がオープンいたしました。是非ご利用ください。

住所：さいたま市浦和区常盤９－３０－２２
電話：０４８－８２９－７９０５
北浦和駅から　徒歩５分

表紙
「プラザノース」

生涯学習、芸術創造活動などを支援する複合施設として、平成20年5月に開館しました。北区宮原町に位置し、加茂宮駅から徒歩5分、土呂駅から15分の距離です。地上3階の建物には、セミナールームやギャラリー、アトリエ、スタジオ、ホールなど多種多様の施設があります。北区役所、図書館も併設されています。

文化活動を支援する施設にふさわしく、躍動的な外観です。施設前のイチョウ並木も施設と一体化して美しい街並みをつくり出しています。

道路向かいには大きなショッピングセンターもあり、新しい何かが見つかりそうな、わくわくする印象の施設です。

編集後記

明けましておめでとうございます

本号は、会員の方々及び顧客様より記事を頂き編集会議で、協議を重ねて、充実した新年号の発行となりました。ご協力をして頂いた皆様に感謝を申し上げます。

今後、皆様からご意見をお聞きしながら、より良い会報を作成し、ご愛読いただけるよう委員一同努力致してまいります。

（編集委員会）